



大阪市舞洲障がい者スポーツセンター

新年のつどい・羽子板コーナー



平成27年1月11日(日)舞洲障がい者スポーツセンターにおいて、毎年行われている新年つどいに、今回は大阪障害者スポーツ指導者協議会に1コーナーを設けて頂き、羽子板コーナーで羽子板を体験して頂きました。午前中の準備として、羽子板の羽根に少し色をつけ、普通の風船と風船バレーで使う風船を作り、どちらがよく跳ね上がるのか試すなど準備を整えました。

午後から「新年のつどい」が始まり、羽子板コーナーも開始しました。羽子板の羽根を初めて打つ人や、風船で羽子板を楽しむ人もいて、たくさんの方に、羽子板を体験して頂きました。

「新年のつどい」に来られた人数は1300人を超え、舞洲スポーツセンターの恒例行事も盛大に盛り上がりました。



それぞれの形で
楽しく羽子板を
しています



ちょっと 豆知識

- ・羽子板で突く羽根に付いている黒くて堅い玉は、「無患子」(むくろじ)という大木の種です。読んでのごとく「子が患わ無い」という意味で、羽子板が「無病息災のお守りになった由来です。
- ・また、羽根が病気を運ぶ蚊を食べてしまうトンボに似ていることから、子が蚊に刺されないように、無病息災の意味につながったとも言われています。

引用 <http://www.kougetsu.co.jp/hanetuki.htm>

編集後記

- ・平成26年12月末の協議会だよりの発行を、今回は平成27年1月の発行となりました。
- ・協議会だよりホームページも、ご覧ください。

協議会だより

平成27年 1月 23日 第73号

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部

大阪市東住吉区長居公園1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内

FAX 06-6697-8613

<http://osaka-adspo.org/>

研修会のお知らせ

日時 平成27年3月14日(土)
場所 大阪市長居障がい者スポーツセンター2階 会議室
時間 受付 15:00 ~
講演 15:30 ~ 17:00

講師 日比野 和雅 氏

テーマ

「バリバラ(バリアフリーバラエティ)を通して

障がいのある人との関わりを考える」

～共に楽しむために～

講師プロフィール

大阪放送局作成部チーフプロデューサー。京都府出身。1990年入局後、数々の美術番組を制作。バリアフリーを扱った福祉情報番組「きらっといきる」の担当となる。その後「バリバラ」にて、放送文化基金賞、日本賞ノミネート、ギャラクシー賞奨励賞を受賞されている。

研修会への参加、お待ちしております。



第14回全国障害者スポーツ大会
長崎 がんばらんば大会
～ 君の夢 はばたけ今 ながさきから ～
平成26年11月1日(土)～3日(月・祝)



全国障害者スポーツ大会 正式競技

個人競技

- ・陸上競技 (身・知)
- ・水泳競技 (身・知)
- ・アーチェリー (身)
- ・卓球 (身・知)
- ・フライングディスク (身・知)
- ・ボウリング (知)

団体競技

- ・車椅子バスケットボール (身)
- ・グランドソフトボール (身)
- ・フットベースボール (知)
- ・バレーボール (身・知・精)
- ・バスケットボール (知)
- ・ソフトボール (知)
- ・サッカー (知)

大阪府

- ・陸上競技 ・水泳競技 ・アーチェリー ・卓球 ・フライングディスク ・ボウリング
- ・サッカー ・バレーボール(精神障害者)

大阪市

- ・陸上競技 ・水泳競技 ・アーチェリー ・卓球 ・フライングディスク ・ボウリング
- ・バレーボール(聴覚障害者) ・バスケットボール



堺市

- ・陸上競技 ・水泳競技 ・アーチェリー ・卓球 ・フライングディスク ・ボウリング
- ・バスケットボール

平成26年11月1日(土)～3日(月・祝)、長崎県立総合運動公園陸上競技場で第14回全国障害者スポーツ大会・長崎がんばらんば大会の開会式が行われました。

天気は小雨でしたが開会式が始まると雨はやみ、スタンドには選手団を迎えてくれる県民や応援に来てくださった方々でいっぱいでした。

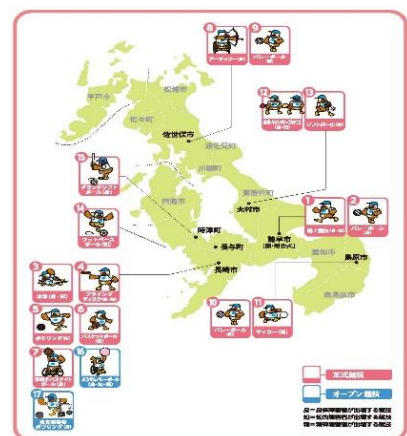
特に地元の小学生たちは、自分たちの前に都道府県選手団が行進すると、歓喜の声援を送っていました。選手団のみんなも手を振り応えていました。

炬火が点火されると個人競技・団体競技の選手たちも、気が引き締まり競技に臨む準備ができました。

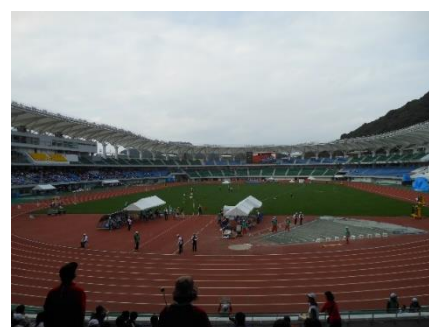
大阪府・大阪市・堺市スポーツ大会は全国障害者スポーツ大会の選考会でもあります。

大阪府・大阪市・堺市選手団選手の皆さんは、長崎がんばらんば大会で日頃の練習の成果を発揮してくれました。

第15回全国障害者スポーツ大会・紀の国わかやま大会は、平成27年10月24日(土)～26日(月)にあります。近くで開催されるので、是非、応援にいきましょう。



正式競技が13カ所に分れて行われた



個人競技

選手団	選手延数	陸上競技			水泳競技			アーチェリー			卓球			フライングディスク			ボウリング			合計		
		金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅
大阪府	135	32	10	8	14	4	0	1	0	0	5	1	4	9	4	4	1	3	1	62	22	17
大阪市	83	7	2	4	7	9	0	1	0	0	3	2	1	4	1	2	2	0	0	24	14	7
堺市	39	6	5	4	1	3	2	0	0	1	1	0	1	3	1	2	0	0	1	11	9	11

団体競技

大阪府	バレーボール(精神障害者)	2位
大阪市	バレーボール(聴覚障害者)	優勝
大阪市	バスケットボール(知的障害者)	2位



がんばくん
らんばちゃん



第14回 長崎がんばらんば大会



きいちゃん

第15回 紀の国わかやま大会

紹介しま〜す

ブライントテニス

日本ブライントテニス連盟 競技規則より <http://www.e-nakama.jp/tennis/default.aspx?pageid=page000024>

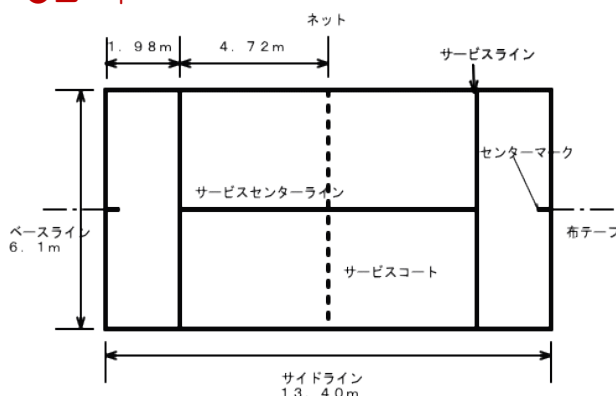
- ❖ ブライントテニスは、ショートテニス用のラケットと音の出るスポンジボールを使って行われる。
- ❖ 視覚障害の程度に応じて競技クラスを区分し、視覚障害者同士で対戦するシングルス公式競技とする。

●競技クラス

- ・視機能分類では、良い方の視力・視野を優先する

クラス	視機能分類・条件	有効バウンド数
B1	視力 0～明暗弁 (アイマスク、または、アイシェード装着)	3バウンド以内
B2	視力 手動弁～0.03未満 視野 5度未満	2バウンド以内
B3	視力 0.03以上 視野 5度以上	2バウンド以内

●コート



- ・コートは、縦 13.40m、横 6.1mとし、ネットにより二分される。
- ・プレイ領域は、安全性を配慮しベースライン後方 3m以上、サイドライン側方 2m以上の領域及び高さ 8m以上が望ましい。
- ・サービスラインは、ネットから 4.72mの位置にベースラインと平行に区画する。
- ・サービスラインとサイドラインに囲まれた部分をセンターサービスラインで二分してサービスコートとする。
- ・ラインの幅は 5cmで区画の中に含まれる。
- ・位置の確認の為に、ベースライン全長、サイドラインのコーナーとセンターマークの部分を 50cm程度の範囲で突起させる。またセンターマークからベースライン後方へ 3m程度突起させた布製粘着テープを貼る。なお突起させる方法として、ラインの下中央部に直径 2mm 程度の紐（例えば風糸）を通す。
- ・ネットはショートテニス用の用具を使用し、高さは、中央部で 0.80mとする。

●ラケット

- ・ラケットは、ショートテニス用又はジュニア用硬式ラケットとし、全長 22 インチ（約 56 センチ）以下とする。ただし、長さを改造したラケットは認めない。
- ・ラケットのフェイス面積については規定しない。

●ボール

- ・ボールは音源の入った日本ブライントテニス連盟公認球を使用する。
- ・ボールの色は黄と黒の 2 種類を使用する。
- ・ボールを固定するテープは 2.5cm 幅のキネシオテープを使用し、テープの色については規定しない。



写真引用 テニスサポート



<http://www.tennis-shop.jp/fs/tennis/139900003>

●ブライントテニス特有のサービスルール

- ・サービスは、サーバーが『いきます』の声をレシーバーに掛け、レシーバーの『はい』の返答を受けたのち、5秒以内にサービスを行う。掛け声や返答がない場合にはサービスはレットとする。
- ・サーバー及びレシーバーが所定の位置を確認する際には、審判やボールパーソンから位置確認の為の助言を受けてもかまわない。

ブラインドテニスの紹介

ブラインドテニスは、元日本ブラインドテニス連盟会長を務めた全盲の武井実良(たけいみよし)さんが考案した日本発祥のスポーツです。

視覚障害者のスポーツというと、卓球も野球もバレーボールもボールを転がすという2次元のものですが、ブラインドテニスは、空中に浮いたボールを打つ、3次元の画期的なスポーツです。

競技には音の出るスポンジボールを使用します。視覚障害者が行う他の多くの球技とは異なり、地面や床を転がすのではなく、宙を飛んでくるボールを全盲クラスのB 1は3バウンド以内、弱視クラスのB 2、B 3は2バウンド以内で打ち合う競技です。

「テニスショップサポートセンターより抜粋」

<http://www.tennis-shop.jp/fs/tennis/139900003>

練習がんばっています

田中 羊子

近畿ブラインドテニス協会では、兵庫、大阪、奈良、滋賀でそれぞれ練習会を開催しています。

大阪での活動拠点は、長居・舞洲の障がい者スポーツセンター、大阪市立玉出小学校になります。

「見えなくても空中を飛ぶボールを打つスポーツがしたい」、そんな、一人の視覚障がい者による夢が現実の形となったブラインドテニスは、誕生して30年を迎えました。

ブラインドテニスは、視覚障がい者の球技の中で、3次元のボールを追いかけて打つ、唯一のスポーツです。

大阪の練習会場でも、ブラインドテニスに魅力を感じ、プレイしてみたいと興味を持ってくれる新規の参加者が年々増えてきました。

プレイヤーたちは、「まずはラリーが続くようになりたい」、「大会に参加し、上位を目指したい」等等、それぞれの目標を持って日々の練習会に取り組んでいます。

最近では、相手が返球しにくいサーブを自分で研究するなど、積極的な姿も多く見られるようになりました。

この練習会は、ボランティアの方々にお手伝いいただくことで支えられ、より円滑に進めることができます。

これからも、大阪の指導員の皆様にご協力いただけますと幸いです。今後とも近畿ブラインドテニス協会・大阪練習会をよろしくお願いいたします。

大阪での練習会のお知らせは、大阪障害者スポーツ指導者協議会のホームページに場所・日時を載せています。お手伝いできる方は、ブラインドテニスの担当者（田中）まで連絡をお願いいたします。

ホームページにて、確認をお願い致します。